

Ⅱ 豊かで多様な生き方を支えるまちづくり（Bグループ）

現状・課題	理想像	対象事業	意見
<p>事業30 ○出産・子育て等により、仕事を諦める人がどのくらいいるのか。 ○待機児童の推移はどうなっているか。</p>		<p>事業30 特別保育の実施</p>	
<p>事業36 ○ぴよぴよ教室で、子どもがぐずり泣いたりするため離乳食実習を行わなくなった。 ○今は市販のベビーフードの使用が多く、手料理をしない人が増えた。</p>	<p>○出産前からの教室を開催する。 ○若い世代の親に手料理の良さを知ってもらう</p>	<p>事業36 ママパパ教室の開催</p>	
<p>事業38 ○教室には、ほぼ料理経験のある人が参加している。しかも、料理経験のある人が一人で作ってしまい、肝心の料理のできない男性が練習できないケースもあるとされる ○経験のない男性にも興味をもってもらえるような教室を企画することが重要</p>	<p>○単発的でなく、定期的に継続して開催する ○楽しく料理のできる時間をつくる。 ○男性の家事能力をあげることで、生活自立を可能にする</p>	<p>事業38 男の料理教室の開催／家事参加意識の促進</p>	<p>○子どもの頃からの「躰」が大切（掃除、洗濯など） ○教室の内容について検討することが必要 ・型にはまった料理でなく、地域と一緒にあって、地区または屋外などで若い男性も気楽に参加できる教室を開催したらどうか。 ・料理と後片付けをセットにして男性にしてもらう ・買い物の仕方、残り物の使い方、後片付け、そうじの仕方などを教える</p>

Ⅲ 女性と男性がともに進めるまちづくり（Bグループ）			
現状・課題	理想像	対象事業	意見
<p>事業6 2</p> <p>○市報とホームページで公募はしているが、女性からの応募がない。</p> <p>○市報等で公募されていても、遠慮してしまったり、自分には関係ないと考えてしまったりする人が多いように思われ、募集の仕方にも工夫の余地がある</p> <p>○登録者の目標数を45名にしているが、まだ到達していない（25.4.1 現在23名）</p> <p>○推薦でもよいのではないか。</p>	<p>○リストへの登録者数を増加させるとともに、それを有効に活用する</p>	<p>事業6 2 女性人材リストの充実</p>	<p>○担当課（市民協働推進課）がアイデアをだし、リストの充実と活用に努めてほしい</p>
<p>事業6 3</p> <p>○毎年、セミナーを3～4回、フォーラムを1回開催している</p> <p>○女性人材リスト登録者にセミナー開催の案内を通知している</p> <p>○セミナー等への参加者が毎回少ない</p> <p>○講演を聴くだけで終わっている</p> <p>○県主催のリーダー研修を毎年1回開催している（対象者：懇話会等の委員や男女共同参画推進に携わっている方、興味のある方）</p>	<p>○男性と女性の性差はあるが、お互い思いやる気持ちをもつ</p>	<p>事業6 3 男女共同参画セミナーの開催</p>	<p>○「男女共同参画」と聞くと、固苦しく身構えてしまうので、親しみのある呼びかけをし、身近なものにしていく必要がある</p> <p>○リーダー研修は、男女共同参画を率先して主導するリーダーのための研修会なので、単に講義を聴く座学タイプばかりでなく、実践的課題に即した研修を企画すべきでないか</p> <p>○広報の仕方を工夫する必要がある</p> <p>○男性職員を含めた「中小企業の育児休業と取り方、作り方」に興味がある</p>